

報道機関配付資料 安城市

件名 国道23号 名豊道路

～全線開通1年後の交通状況と開通効果～

令和8年3月31日

令和7年3月8日（土）に蒲郡バイパス（豊川為当IC～蒲郡IC）が開通したことで、名豊道路が全線開通しました。

全線開通1年後の交通状況、開通効果等について、お知らせします。

<概要>

- 開通区間の交通量は約21,500台/12h
- 並行する国道1号と国道247号の交通量が最大で約20%（12,100台/12h）減少
- 並行する国道247号では最大渋滞長が約1,020m減少
- 並行する国道1号や国道247号の旅行速度が向上
- 豊川為当ICの合流部などにおいて、速度低下が発生
- 1台あたりの配送可能件数が増加し、配送台数の削減に寄与
- 工業団地の開発や企業誘致が進展
- 30分医療カバー圏人口が1.1万人増加
- 道の駅の来訪者数が1.1倍に増加、売上が1.2倍に増加

名豊道路についての問い合わせ

国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所
電話 052-823-7911

問い合わせ 安城市役所 土木課用地係

電話 0566-71-2238（直通）



安城市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



安城市LINE
公式アカウント
友だち募集中



42.6 km
の進化を
今、そして未来へ

令和8年3月27日
国土交通省中部地方整備局
名四国道事務所

— 記者発表資料 —



国道23号 名豊道路



～全線開通1年後の交通状況と開通効果～

令和7年3月8日（土）に蒲郡バイパス（豊川為当 I C～蒲郡 I C）
が開通したことで、名豊道路が全線開通しました。

全線開通1年後の交通状況、開通効果等について、お知らせします。

<概要>

- 開通区間の交通量は約21,500台/12h
- 並行する国道1号と国道247号の交通量が最大で約20%（12,100台/12h）減少
- 並行する国道247号では最大渋滞長が約1,020m減少
- 並行する国道1号や国道247号の旅行速度が向上
- 豊川為当 I Cの合流部などにおいて、速度低下が発生
- 1台あたりの配送可能件数が増加し、配送台数の削減に寄与
- 工業団地の開発や企業誘致が進展
- 30分医療カバー圏人口が1.1万人増加
- 道の駅の来訪者数が1.1倍に増加、売上が1.2倍に増加

記者発表クラブ

中部地方整備局記者クラブ、愛知県政記者クラブ、豊橋市政記者会、岡崎市政記者会、豊川市政記者クラブ、刈谷市政記者クラブ、安城市役所記者室、西尾市記者室在籍報道機関、蒲郡記者クラブ、豊明記者クラブ、田原市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所 TEL：052-823-7911
副所長 和田 春樹 計画課長 中川 達也

“開通後”の
地域の声集めました

つながる中部42.6

令和6年度開通する各道路事業の整備効果や開通に向けての進捗状況など積極的にPR



2050年、世界一、賢く・安全で・持続可能な基盤ネットワークシステムの実現を目指す

World-class Infrastructure with 3S(Smart, Safe, Sustainable) Empowered NETWORK



名四国道事務所
YouTube

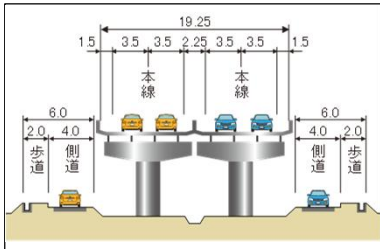
名豊道路の概要

- 国道23号名豊道路は、名古屋市と豊橋市を結び沿線の8市1町を通過する延長72.7kmの高規格道路です。
- 令和7年3月8日に蒲郡バイパスの豊川為当IC～蒲郡IC間（延長9.1km）が開通したことで、名豊道路全線が暫定2車線で開通しました。

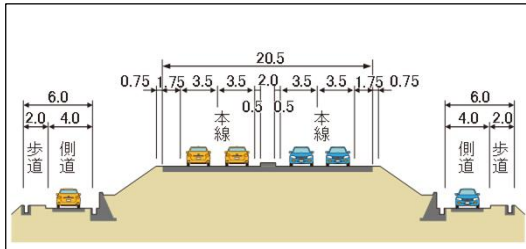


<標準断面図> 単位:m

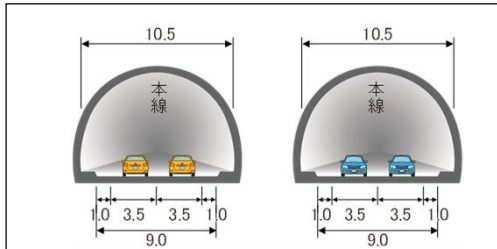
高架部



盛土部



トンネル部



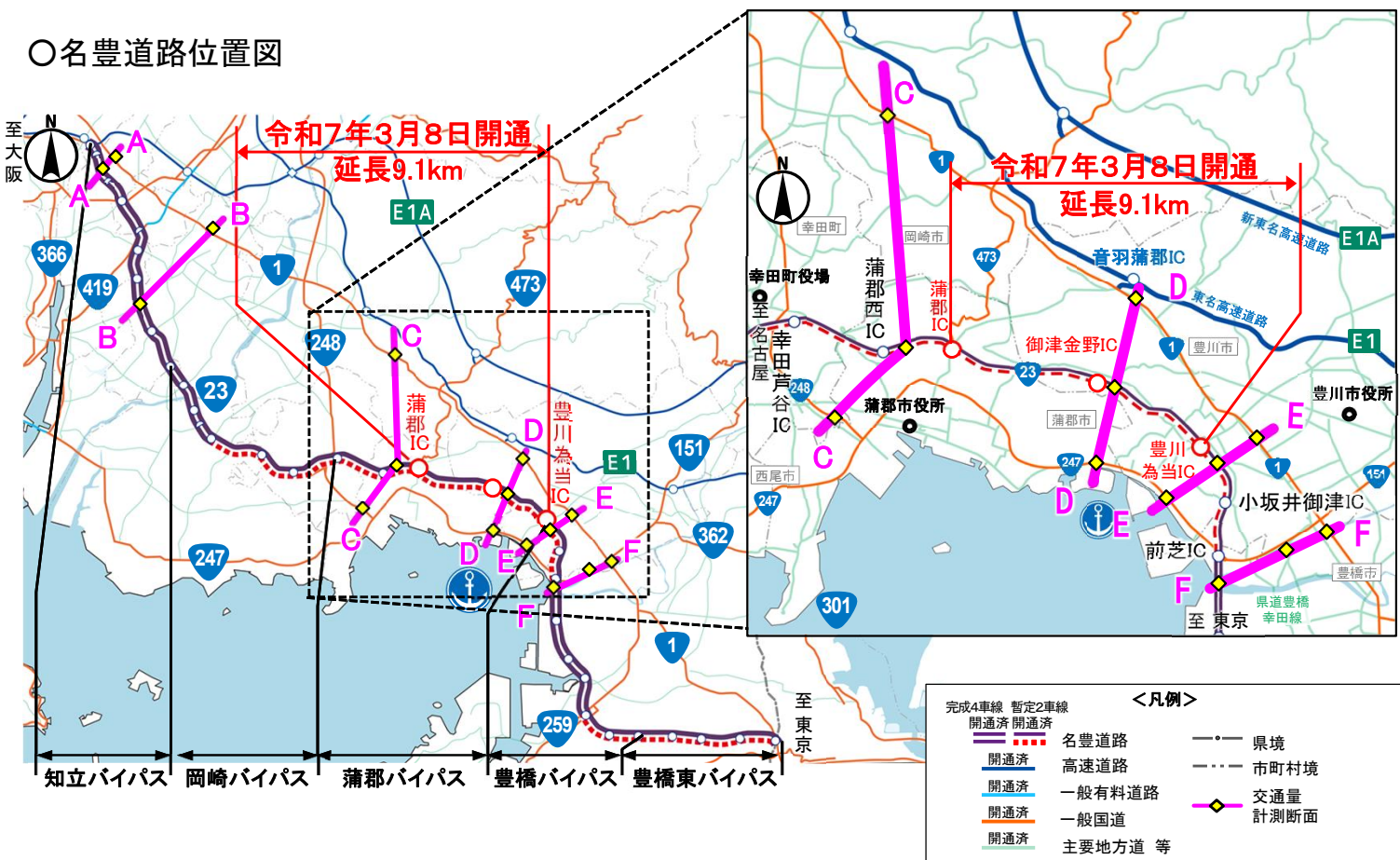
<開通セレモニーの様子>



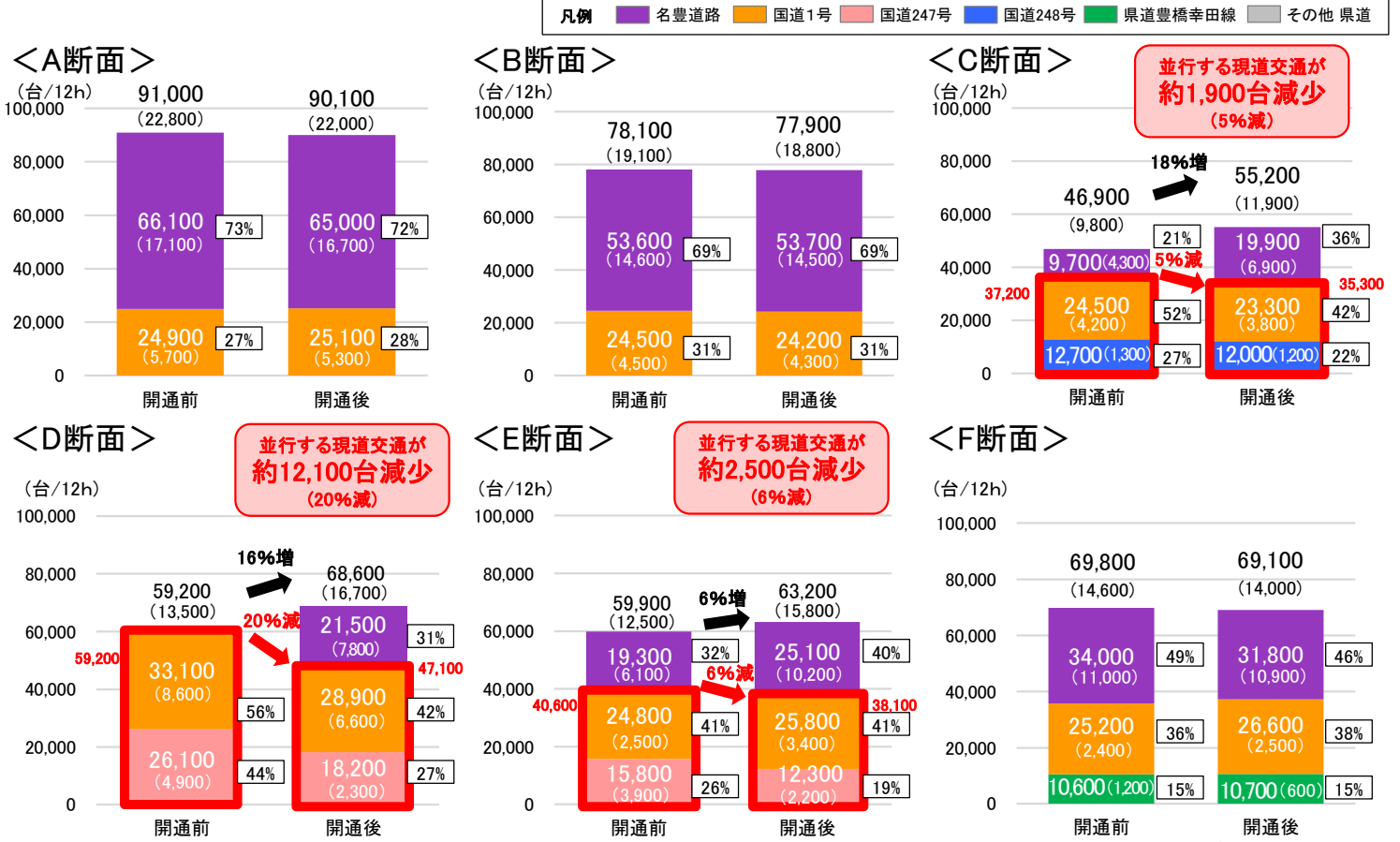
全線開通前後の交通状況（名豊道路全線）

■開通区間の交通量は、21,500台/12hとなっており、並行する現道の交通量が最大で約20%（約12,100台/12h）減少しました。

○名豊道路位置図



○開通前後の交通量の変化



出典：交通量調査結果(開通前 2024.10.22(火)、開通後 2025.10.21(火)、23(木))、トラカンデータ(開通前 2024.10.22(火)、開通後 2025.10.21(火)、23(木))

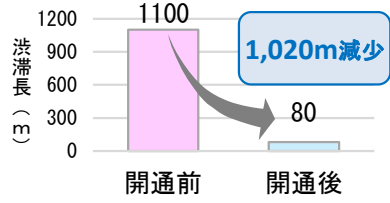
がまごおり
 ■ 蒲郡バイパスの開通により、国道1号では最大渋滞長が620m減少、国道247号では1,020m減少するなど、周辺道路の渋滞が緩和しました。
とよかわためとう
 ■ 一方、豊川為当ICの合流部など、速度低下が顕著な箇所については、対策を検討します。

○位置図

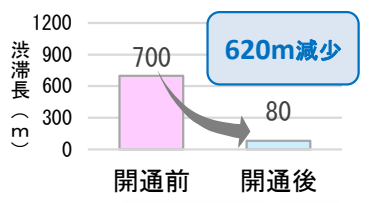


○周辺道路の渋滞緩和

＜前芝宇塚交差点 北西側流入部＞



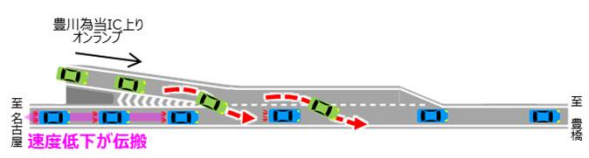
＜京次西交差点 北西側流入部＞



○豊川為当IC合流部の状況



○速度低下イメージ



出典: 渋滞長調査結果(開通前 2024.10.22(火)、開通後 2025.10.21(火)、23(木)) 渋滞長は調査日における最大渋滞長

周辺道路ネットワークの速度向上

めいほう

- 名豊道路の全線開通により、周辺道路の交通が転換したことで走行性が向上しました。
- 特に、開通区間に並行する国道1号や、国道247号の旅行速度が向上しました。

○全線開通前 旅行速度状況(7時台)



○全線開通後 旅行速度状況(7時台)



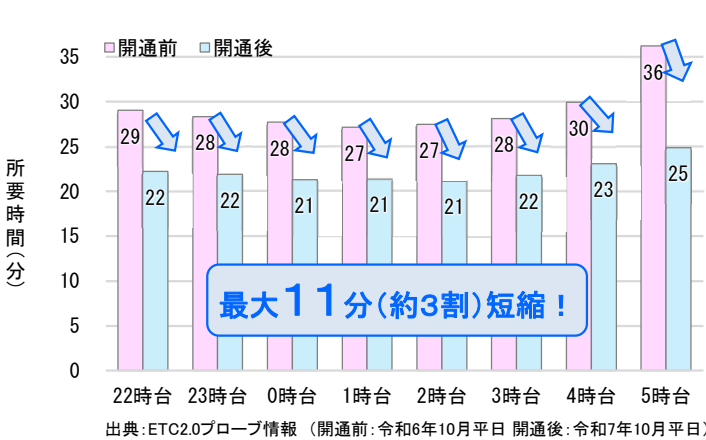
- 全線開通後は、^{めいほう}名豊道路を利用した配送ルートに変更したことで、夜間を中心に配送時間が短縮しました。
- 配送時間が短縮したことで、1台あたりの配送可能件数が増加し、配送台数が削減。人手不足が懸念される物流業界を支援しています。

○幸田町から豊橋方面への配送

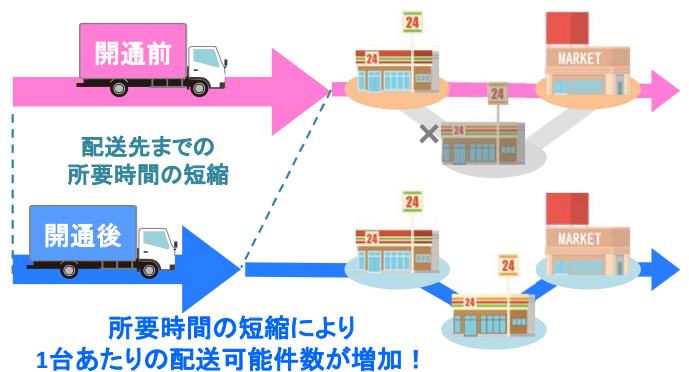


出典：ETC2.0プローブ情報（開通前：令和6年10月平日 開通後：令和7年10月平日）

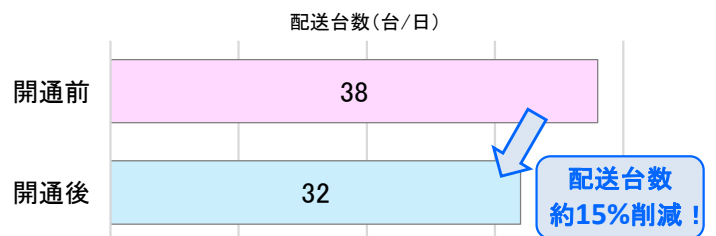
○所要時間の短縮(幸田桐山IC→前芝宇塚交差点)



○所要時間短縮による配送効率化イメージ



○配送台数の変化(A社)



・全線開通により、幸田町の営業所から豊橋方面への夜間配送時間が短縮しました。配送時間が短縮したことで、1台あたりの配送可能件数が増加し、配送台数の15%の削減につながりました。(A社)





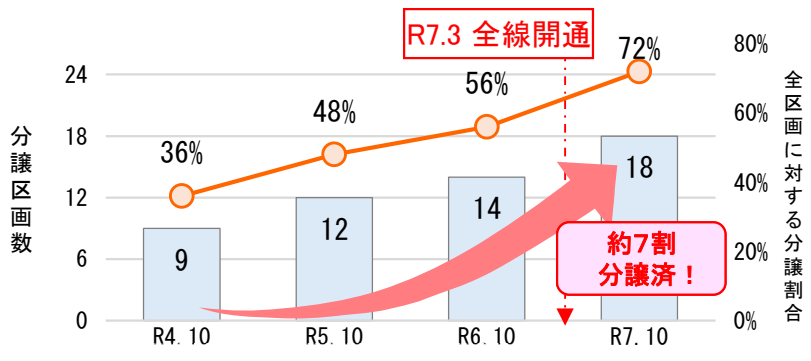
沿線工業団地への企業誘致の進展

- 名豊道路の全線開通を見据え、豊川市では、豊川為当IC付近の交通利便性が高いエリアに、工業用地の開発を進めてきました。
- 全線開通を契機に、進出を希望する企業からの問合せが増加しており、順調に分譲交渉が進んでいます。

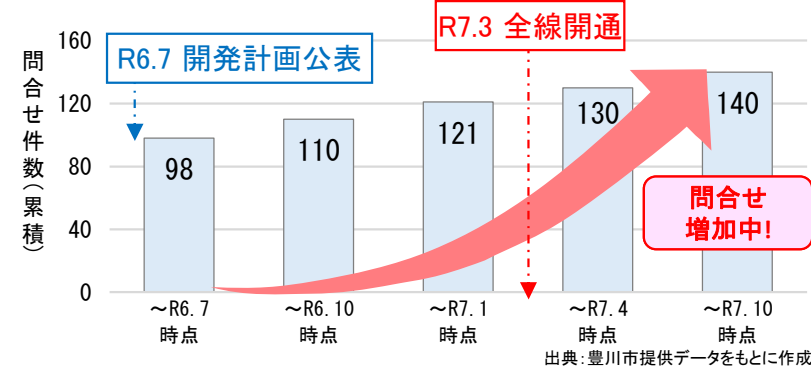
○新たな工業団地の開発



○御津1区臨海工業団地 分譲状況(全25区画)



○白鳥地区工業団地 分譲問合せ状況



・名豊道路の全線開通により、豊川為当ICから約2kmに位置する「御津1区臨海工業団地」への問合せが増加しており、実際に順調に分譲が進んでいます。ご選定いただいた物流企業は、信号がなく無料で利用できる名豊道路をはじめとした主要幹線道路へのアクセスが高い点に利点を感じられていると聞いています。

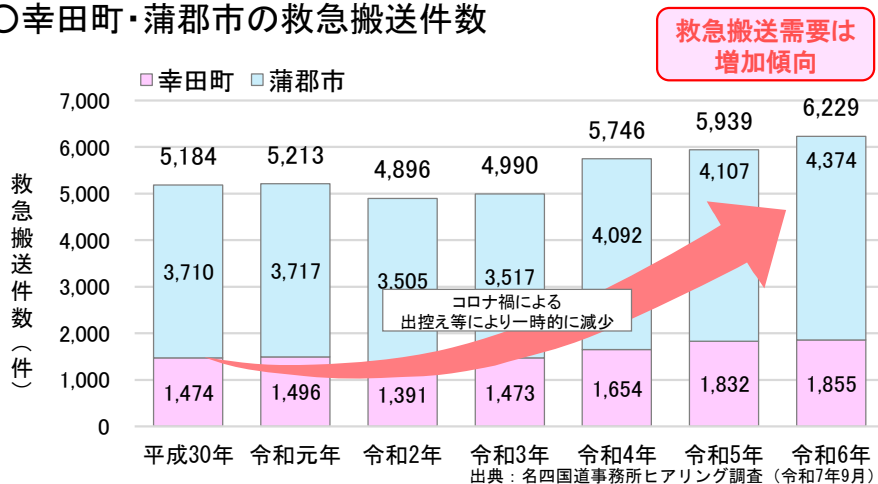
・今回の開通を見据えて、豊川為当IC周辺に、「白鳥地区工業団地」を始めとする新規内陸用地の開発検討を始めています。さらなる立地企業の受け皿を用意するとともに、企業誘致活動を積極的に実施することで、市のさらなる発展、活性化を期待しています。(豊川市)





- **幸田町と蒲郡市の救急搬送件数は、コロナ禍以前よりも増加しており、救急搬送需要は増加傾向にあります。**
- **全線開通により、第3次救急医療施設と幸田町・蒲郡市の所要時間が短縮し、30分圏医療カバー人口が1.1万人増加しました。**
- **名豊道路の利用により、信号交差点の回避が可能となり、傷病者の負荷軽減にもつながっています。**

○幸田町・蒲郡市の救急搬送件数



救急搬送需要は増加傾向

○3次医療施設までの所要時間の変化

【豊橋市民病院へのアクセス】

	【開通前】	【開通後】
幸田町	45分	40分 (5分短縮)
蒲郡市	31分	30分 (1分短縮)

【豊川市民病院へのアクセス】

	【開通前】	【開通後】
幸田町	41分	32分 (9分短縮)
蒲郡市	29分	26分 (3分短縮)

○3次医療施設の30分圏域の変化



○3次医療施設における30分圏域人口の変化

	【開通前】	【開通後】
幸田町	8.8万人	9.9万人 (約1.1万人増加)
蒲郡市		

3次医療施設へのアクセス向上

速度条件

(開通前)ETC2.0プローブ情報(令和6年10月平日平均 昼間12時間平均旅行速度)
(開通後)ETC2.0プローブ情報(令和7年10月平日平均 昼間12時間平均旅行速度)

- ・搬送先や交通状況によっては、名豊道路の開通区間を利用した搬送ルートを選択することができるようになりました。
- ・名豊道路は、停止・発進による身体への影響が懸念される信号交差点を回避することができるため、傷病者の身体的負担に加えて、ドライバーの心理的負担の軽減にもつながっていると感じます。
- ・また、全線開通により、一般道を走行する車両が減少したことで、渋滞に巻き込まれることも減り、搬送効率が向上しました。(蒲郡市消防本部)



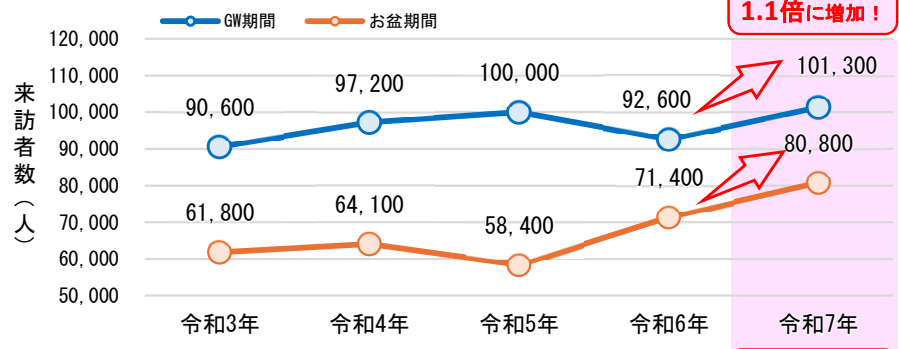
沿線道の駅の来訪者数・売上増

- 名豊道路の全線開通により、東西方向のアクセス性が向上したことで、沿線に位置する「道の駅」の来訪者が増加しました。
- 来訪者が増加したことで、売り上げが開通前の約1.2倍に増加しました。

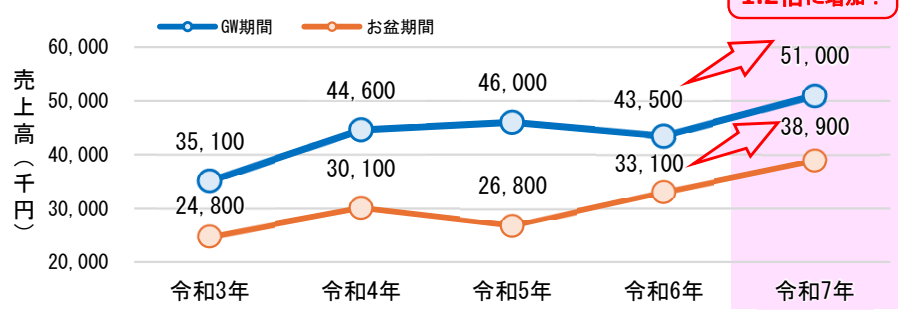
○名豊道路を沿線に位置する道の駅



○「道の駅」来訪者数の変化(沿線3道の駅※計)



○「道の駅」売上高の変化(沿線3道の駅※計)



・名豊道路の全線開通後は、遠方からの来訪者が多くなったと実感しています。実際に、開通直後では、来訪者数が15%ほど増加しており、売上については40%の増加につながっています。「道の駅」のような地域を代表する拠点に多くの方に立ち寄っていただくことで、地域の活性化に貢献していると感じています。

・完成4車線化等により、今後さらなる交通量の増加も見込まれますので、経済・観光の拠点として、地域の特色を活かしながらスケールアップを図っていきたいと考えています。(「道の駅」とよはし)



※沿線3道の駅：「道の駅」筆柿の里・幸田、「道の駅」にしお岡ノ山、「道の駅」とよはし
出典：道の駅提供データ

出典：名四国道事務所ヒアリング調査（令和7年9月）

名豊道路 速度低下箇所における対策概要

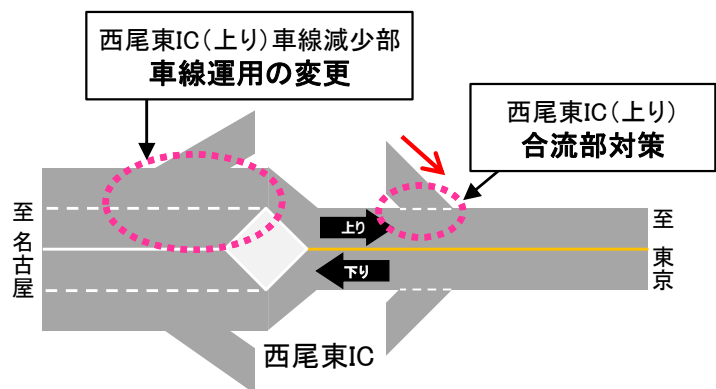
めいほう

■名豊道路の全線開通後に速度低下が顕著な西尾東ICや豊川為当IC～前芝ICの合流部や車線減少部については、今後速度低下対策を実施します。

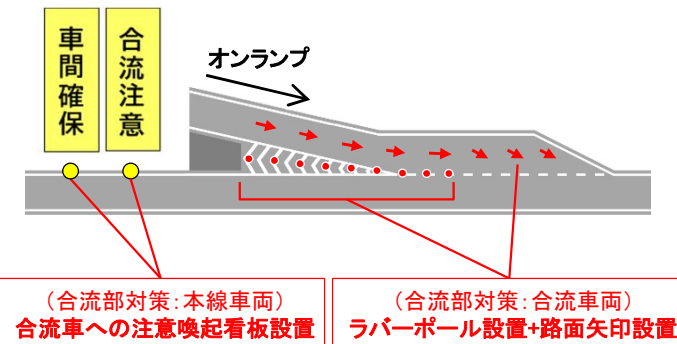
○名豊道路の速度低下対策予定箇所



①岡崎バイパス西尾東IC 対策概要



<合流部対策内容>



②豊橋バイパス豊川為当IC～前芝IC 対策概要

